WebSphere Application Server V6.0

修正パッケージ(Refresh Pack/Fix Pack) 適用ガイド 【6.0.2.21~】

V1.2

2012 年 10 月 日本アイ・ビー・エム株式会社 ソフトウェア事業

<u>目次</u>

1. はじめに	2
1-a. WAS V6.0 のバージョン表記について	2
1-b. Fix のインストール・アンインストールの順序	2
1-c. 本ガイドで修正パッケージを適用するにあたって	3
2. Refresh Pack/Fix Pack のダウンロード	4
3. Refresh Pack のインストール	6
4. Refresh Pack インストール後の確認	11
5. Update Installer のダウンロード	12
6. Update Installer のインストール	13
7. Fix Pack のインストール	17
8. Fix Pack インストール後の確認	22
9. Refresh Pack/Fix Pack のアンインストール	23
10. Refresh Pack/Fix Pack アンインストール後の確認	26

<u>変更履歴</u>

2007/8/28	V6.0.2 Fix Pack 21 からの適用手順変更にあわせ修正。V1.1 としてリリース。
	・ FixPack21 適用手順にあわせ UpdateInstaller 導入手順の追加、Fix Pack の適用手順の修正
	・ 前提の導入ディレクトリの修正
2007/11/26	Fixpack ファイルダウンロードに関する補足項目を追加。V1.2 としてリリース。
	・「.pak」拡張子が「.pak.zip」に変更されてしまう問題
	(Technote : http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=180&uid=swg21256778)
2012/10/02	「setupCmdLine.bat」を実行する記載の削除

1. はじめに

WebSphere Application Server(以下WAS)では、定期的に修正パッケージ(Fix)を、以下の製品サポート Webサイトで公開しています。

http://www.ibm.com/software/webservers/appserv/was/support/

本ガイドは、WAS V6.0の修正パッケージ(Refresh PackとFix Pack)の導入を手順書化したものです。

1-a. WAS V6.0 のバージョン表記について

WAS V6.0では、バージョンを「V6. x. y. z」というように、4つの数字の組み合わせで表記します。 各数字は、下表のFixレベルを表します。また、単体の個別Fixのことを単に"Fix"、あるいは"Interim Fix"、 "iFix"とと呼びます。

Fixレベル	表記例	修正(Fix)の内容
Release [x]	V6.0	大きな機能の追加や変更。
		(リリースアップにはパスポート・アドバンテージ契約が必要)
Refresh Pack 「y」	V6.0.2	機能の追加や前提条件の更新を含み、その以前に出ている
		Refresh Packを含んだ修正)の集合。
		(V5.0/V5.0では、Fix Packと呼ばれていたもの。)
Fix Pack [[] z]	V6.0.2.2	複数のFixがまとめて定期的に公開されたもの。その以前に出て
		いるFix Packを含みます。前提のRefresh Packは別途導入が必
		要です。 (例えば、V6.0.2.18の適用には、事前にV6.0.2が導入
		されている必要があります。)
Fix	V6.0.2.2	「PQ00000」や「PK00000」などの個別のFix。
	+ PQ00000	"Interim Fix"、"iFix" とも表記されます。

例えば、V6.0.2.2とは、V6.0を導入後、Refresh Pack 2とFix Pack 2を適用した環境のことを指します。

1-b. Fix のインストール・アンインストールの順序

Fix Packをインストールする際、前提のRefresh Packがインストールされている必要があり、Interim Fixをイン ストール際には、前提のRefresh Pack + Fix Packの環境である必要があります。そのため、Fixのインストー ルは、「Refresh packのインストール」→「Fix packのインストール」→「Interim Fixのインストール」の順序で 行います。また、WASのRefresh Pack/Fix Packは累積Fixですので、適用Fix以前に出荷されているFixはイン ストールする必要はありません。(たとえば、V6.0.2.3を適用する場合、V6.0.2にFix Pack 1(V6.0.2.1)、Fix Pack 2(V6.0.2.2)をインストールする必要はなく、V6.0.2にFix Pack 3 (V6.0.2.3)のみを適用します。)

Fixのアンインストールでは、インストールと逆の順序でアンインストールします。「Interim Fixのアンインストー ル」→「Fix Packのアンインストール」→「Refresh Packのアンインストール」の順序で行います。 WAS V6.0のバージョン表記のストラテジーについては、以下のWebサイトの情報もご参照ください。 Update Strategy for WebSphere Application Server V6.0 release http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=180&uid=swg21191989

本ガイドでは、"Refresh Pack"、"Fix Pack"の適用手順について記述します。

1-c. 本ガイドで修正パッケージを適用するにあたって

WebSphere Application Server (以下WAS)ではFixの導入のために UpdateInstaller という ツールを 用意しています。Fixを導入したり、既に導入済みのFixの情報を参照、あるいは削除したりする事が可能です。 但し、適用するFixの前提条件等もありますので、適用時には各FixのReadmeもご参照の上、適用をお願いし ます。

本文中で使用されている<WAS_ROOT>とは、WASのインストールディレクトリーのことであり、

各プラットフォームのデフォルトは、以下のディレクトリーとなります。

[AIX 填境]	:/usr/IBM/WebSphere/AppServer
[Linux/Solaris/HP-UX 環境]	:/opt/IBM/WebSphere/AppServer
[Windows 環境]	:C:¥Program Files¥IBM¥WebSphere¥AppServer

各コマンドやツールの詳細な情報については、適用するFix/Update Installerのreadmeや、infocenterを 合わせてご参照ください。

また、本文中のURLおよびWebサイトの画面イメージは、2006年8月現在のものであり、将来変更される場合 がありますのでご注意ください。

2. Refresh Pack/Fix Pack のダウンロード

Refresh Pack/Fix Pack は、製品サポート・サイトよりダウンロードして導入をお願いします。

1. 製品のサポート・サイトで、最新 Fix を調べます。下記 Web サイトにアクセスし、「Download」の「Recommended fixes」をクリックしてください。

http://www.ibm.com/software/webservers/appserv/was/support/



2. 各バージョンの最新 Fix 情報一覧が表示されます。「Version 6.0」をクリックすると、最新 Fix 一覧表に移動 します。ご使用の OS プラットフォームのリンクをクリックし、ダウンロードページに移動します。



 適用する Refresh Pack/Fix Pack をダウンロードします。ダウンロードページで、「Download package」の 「Download Options」の"FTP"もしくは"DD"をクリックします。

("FTP", "DD"のどちらを選択していただいても同じモジュールをダウンロードできます。)

🚰 IBM - 6.0.2.11	: WebSphere Applic	ation Serve	r V6.0.2 Fix	Pack 11 fo	r Windo	ws platf	📃	
ファイル(E) 編集(E)	表示(型) お気に入り	(<u>A</u>) ツール(<u>T</u>)	ヘルプ(円)					.
アドレス(D) 🛃 http:/.	/www-1.ibm.com/suppor	t/docview.wss?	rs=180&uid=swe	24012488	⊻ ∋	移動しい	ック ^w	🔁 -
	Fix List for V6.0.2		US	English	100			^
	Download package				What	is DD?		
	Download	RELEASE DATE	LANGUAGE	SIZE (Bytes)	Downle Option	oad s		
	32-bit x86 AMD/Intel AppServer	19/06/2006	US English	260508291	FTP			
	32-bit x86 AMD/Intel AppClient	19/06/2006	US English	49326573	<u>FTP</u>	DD		
	32-bit x86 AMD/Intel Plug- ins	19/06/2006	US English	19536883	<u>FTP</u>	DD		Ξ
	32-bit x86 AMD/Intel IBM HTTP Srvr	19/06/2006	US English	24347547	<u>FTP</u>	DD		
	32-bit x86 AMD/Intel Java SDK	19/06/2006	US English	117745619	<u>FTP</u>	DD		
	64-bit Intel Itanium AppServer	19/06/2006	US English	260821110	<u>FTP</u>	DD		
	64-bit Intel	19/06/2006	US English	20157133	FTP	DD		~
								2
e						312177	521	

4. ライセンスについての説明が表示されます。内容を確認して"lagree"をクリックします。



- 5. Refresh Pack/Fix Pack ファイルのダウンロード・ウィンドウが表示されますので任意のディレクトリーに保 管します。
- 以上で Refresh Pack/Fix Pack のダウンロードは完了です。

3. Refresh Pack のインストール

Refresh Pack をインストールします。なお、既に Refresh Pack 適用済み、あるいは Refresh Pack の適用が 不要の場合は(例えば、V6.0.0.x の環境を構築する場合)、""にお進み下さい。

- ●インストールを行う前の注意事項
 - 1. 導入前にすべての WAS, IHS が停止していることを確認してください。 また、WAS 以外で稼動している java プロセスについても停止する必要があります。
 - 2. AIX 環境では不要なライブラリをアンロードするため、root で slibclean を実行してください。
 - 3. ファイルシステムのスペースに不足がないことを確認してください。
 - ·[AIX] :/tmp、/usr に各々約 400M
 ·[Linux および AIX 以外の UNIX ベースのプラットフォーム]:/tmp、/opt に各々約 400M
 (上記のプラットフォームにおける /usr、/opt 配下に必要とされるスペースは WAS のインストールディレクトリーに依存します。インストールディレクトリーを変更している場合は、そのファイルシステムのスペースを確保してください。)
 - ・[Windows] : インストールを実行するディスクに約800M
- ●インストール時の注意事項/推奨事項
- WebSphere Application Server Network Deployment(WAS ND)を導入されているお客様は、 DeploymentManager の Fix レベルが AppServer より高く(新しく)なければなりません。WAS NDを導入 されているお客様は、まず先に Fix を DeploymentManager へ適用し、その後、AppServer へ適用をお願 いします。
- アップデート・インストーラー・プログラムを並行して起動することはできません。複数の更新を同時に実行 すると、インストールの失敗や不完全なインストールを引き起こす可能性があります。
- テスト環境下での適用確認を実行してからの本番環境での適用を推奨します。
- ・ Fix 適用前に Back-up などをとり、問題発生時にすばやく対処できるよう対策をとることを推奨します。

●Update Installer にはウィザード(GUI)モードとサイレント(CUI)モードがあります。本ガイドででは、GUIモードのインストール手順を示します。

 "2. Refresh Pack/Fix Pack のダウンロード"でダウンロードした、Refresh Pack ファイルを解凍し、 updateinstaller ディレクトリーを<WAS_ROOT>の下に展開します。 (<WAS_ROOT>/updateinstaller/ となるように配置します。)

- 2. コマンドプロンプトを立ち上げます。
 - 以下のコマンドは同じコマンドプロンプトで実行してください。
 - UpdateInstallerを展開したディレクトリーに移動します。
 update.exe(あるいは、update)を実行します。
- 3. ウィザード形式の Update Installer が起動します。"次へ"をクリックします。



4. 更新する WAS のインストールディレクトリー(<WAS_ROOT>)を入力し、"次へ"をクリックします。



5. "保守パッケージのインストール"を選択し"次へ"をクリックします。

皆 IBM Update Installer f	or WebSphere Software V6.0.2.0	
WebSphere, software	保守操作を選択してください。 「保守パッケージのインストール① ○ 保守パックーシのアンモンストール①	
InstallShield	<戻る(B) (<u>次へ(N)</u> > 取り消し	.©

6. インストール Refresh Pack のファイル名を入力し、"次へ"をクリックします。

「Refresh pack のファイル名」とは、ダウンロードした Refresh Pack ファイルそのものではなく、ファイルに 含まれている.pak という拡張子をもつファイルを指定します。pak ファイルは、 <WAS_ROOT>/updateinstaller/maintenannce ディレクトリー配下にあり、「Refresh Pack のファイル名 +拡張子(.pak)」の形式で保管されています。

(例:<WAS_ROOT>¥updateinstaller¥maintenance¥ 6.0-WS-WAS-WinX32-RP0000002.pak)



 環境によっては、JDK の更新を必要とする画面が表示されます。その場合は、"次へ"をクリックし JDK を 更新します。

更新が終了したら、"再起動"をクリックします。"手順 5"に画面が戻りますので、同様の手順を再度実行して下さい。



8. 修正パッケージ更新内容の確認画面が表示されます。内容を確認し、"次へ"をクリックします。インストー ルが開始します。

업 IBM Update Installer (for WebSphere Software V6.0.2.0	_ 🗆 🗙
■ IBM Update Installer	for WebSphere Software V6.0.2.0 次の製品はアップグレードされます: ● IBM WebSphere Application Server Network Deployment - C: NBMWebSphere60VAppServer 次の保守パッケージをインストールして行われます。 ● RP6020 - WebSphere Application Server 6.0.2.0 この保守パッケージにはプロファイルの更新が必要です。続行する前に、 backupConfig コマンドで各プロファイルをパックアップするか、プロファイディレクトリー全体をアーカイブしてください。 「次へ」をクリックすると、インストールを開始します。	()L ·
InstallShield		
	<戻る(B) 次へ(N) > 取り消	LO

9. インストールが完了したら"終了"をクリックします。



以上で、Refresh Pack のインストールは完了です。

4. Refresh Pack インストール後の確認

<WAS_ROOT>¥bin¥versionInfo.bat あるいは **versionInfo.sh** を実行し、Fix レベルを含めたバージョン を確認します。

ersioriiriio.bat(sii)	の美行1例(V6.0 に Refresh Pa	iCK.2.をインストールした例)
C:¥IBM¥WebSphere	60¥AppServer¥bin>versionInfo.bat	
WVER0010I: Copyri	ght (c) IBM Corporation 2002, 2005	All rights reserved.
WVER0011I: WebSp	ohere Application Server リリース 6	.0
WVER0012I: Version	nInfo reporter バージョン 1.15.3.1、	ヨ付 4/25/05
IBM WebSphere App	blication Server 製品インストール状	 兄レポート
 ~省略~		
インストール・プラット	7オーム	
 名前	IBM WebSphere Applicat	ion Server
バージョン	6.0	
製品リスト		
ND	インストール済み	
インストール済み製品	i de la companya de l	
 名前	IBM WebSphere Applicat	ion Server - ND
バージョン	6.0.2.0	
ID	ND	
ビルド・レベル	00526.07	
_ /// <i>P</i> //	C/20/0E	

適用したFixが適用され、"インストール済み製品"の"バージョン"が更新されていれば正しくインストールされています。

問題が発生した場合には<WAS_ROOT>¥logs¥updateにあるlogファイルを確認してください。

5. Update Installer のダウンロード

V6.0.2 Fix Pack 21(V6.0.2.21)から、Fix ファイルのパッケージの中に Update Installer が同梱されなくなり、また、修正パッケージの更新・削除のツールは Update Installer <u>V6.1</u>を使用する必要があります。そのため、 Update Installer を別途ダウンロードしインストールする必要があります。既に Update Installer が導入されて いる場合も、最新版の Update Installer のご利用ください。(Fix Pack 21を適用する場合は、Update Installer V6.1.0.9 が必要となります。)

Update Installer は、下記 Web サイトよりダウンロードして導入します。 Update Installer for WebSphere Application Server V6.1 releases

http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=180&uid=swg24012718

 1. 上記 URL より Update Installer ダウンロードサイトに移動します。下の画面で「Download package」の欄 からお使いのプラットフォームの「Download Options」("FTP"もしくは"DD")を選択し、クリックします。

e - IBM JCE	▼ G検索 ・	👰 4 をブロッ!	うしました 🛛 🛃	オプション 🍐	6	вм 👸	JCE
	Prerequisites Use Java™ 2 SDK, V1 Installation Instruc Review the Readme fo	.3.1 shipped w tions or a detailed d	vith WebSph	ere Applicatio	on Serv	er V5.0. tool.	
	URL		L	ANGUAGE	SIZE	(Bytes)	1
	Readme		L	JS English	2091	11	
	Tips for setting up environment using	runtime setupCmdL	L	JS English	2091	1	
	Tips for using "jar updateInstaller	Tips for using "jar" command to unzip updateInstaller		JS English	2637	5	
	Download package	RELEASE		SIZE	Wh	at is DD	2
	Download	DATE	LANGUAG	(Bytes)	Optio	ns	
	Update Installer - AIX®	17/03/2006	US English	8875989	FTP	DD	
		57506784639695	US English	8969202	FTP	DD	
	Update Installer - HP-UX	17/03/2006	los english				
	Update Installer - HP-UX Update Installer - Linux®	17/03/2006	US English	8887305	FTP	DD	
	Update Installer - HP-UX Update Installer - Linux® Update Installer - Solaris	17/03/2006 17/03/2006 17/03/2006	US English US English US English	8887305	ETP ETP		-
	Update Installer - HP-UX Update Installer - Linux® Update Installer - Solaris Update Installer - Windows®	17/03/2006 17/03/2006 17/03/2006 17/03/2006	US English US English US English	8887305 8962575 8866312	ETP ETP		

ライセンスについての説明が表示されたら、内容を確認して"l agree"をクリックします。
 ファイルのダウンロード・ウィンドウが表示されますので、任意のディレクトリーに保存します。



- ダウンロードした Update Installer の zip ファイルを任意のディレクトリーに保管します。
 (例 : /tmp/wasfix/update/download.updii.6109.linux.ia32.zip)
- 以上で Update Installer のダウンロードは完了です。

6. Update Installer のインストール

Update Installer をインストールします。

- **"5. Update Installer のダウンロード**"でダウンロードした Update Installer の zip ファイルを任意のディレクトリーに解凍し展開します。(例 : /tmp/wasfix/update/)
- コマンドプロンプトを立ち上げ、Update Installer を展開したディレクトリーの UpdateInstaller ディレクトリー に移動し、install コマンドを実行します。

例)	# cd /tmp/wasfix/update/UpdateInstaller
	# ./install

3. Update Installer のインストール・ウィザードが起動します。"次へ"をクリックします。

Up	date Installer のインストール・ウィザード V6.1.0.0
WebSphere software	Update Installer のインストール・ウィザード IBM Update Installer for WebSphere ソフトウェアのインストール・ウィザー ドへようこそ 詳しくは Information Centers and Support sites for WebSphere and related products ホーム・ページを参照してください。 続行するには「次へ」をクリックします。
InstallShield	< 戻る(B) 次へ(N) > 取り消し(<u>C</u>)

 "ソフトウェア・ライセンス情報"では使用条件に同意して"次へ"をクリックします。同意いただけない場合は、 Update Installer を使用することができません。

V/////////////////////////////////////	pdate Installer のインストール・ウィザード V6.1.0.0
#	ソフトウェア・ライセンス情報
WebSohere software	プログラムのご使用条件
MAX.	第1章 - 共通事項
	お客様が「プログラム」をダウンロード、導入、複製、アクセスあるいは使用され
Part	ると、このプログラムのこ便用条件(以下「使用条件」といいます)に同意された ものと見なされます。他の個人、会社あるいは法人に代わってこの使用条件に同意
	される場合は、お客様はそれらの個人、会社あるいは法人にこの使用条件を順守さ
	せる全権限を有していることを表明・保証いだだくものとします。この使用条件に 同意いただけない場合は、お客様は
	◎ IBM および第三者が提示する条件に同意します。
The second	○ 使用条件の条項に同意しません。
	English
	rhŵl
InstallShield	
	< 夏ろ(B) 次へ(N) > 取り消し(C)

5. "システム前提条件の検査"が始まりますのでそのまま待ちます。正常に終了したら"次へ"をクリックしま す。

V ////////////////////////////////////	pdate Installer のインストール・ウィザード V6.1.0.0
WebSphere software	システム前提条件の検査 インストール・ウィザードは、システムを検査して、サポートされるオペレーティン グ・システムが稼働しているか、およびオペレーティング・システムに適切なサービ ス・パックとパッチが適用されているかを判別します。前提条件の検査後、インス トール・ウィザードは既存の Update Installer for Websphere パッケージについ て検査します。 システムは、前提条件の検査を正常に完了しました。
InstallShield	
	< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) > 取り消し(<u>C</u>)

6. 「インストール・ディレクトリー」で Update Installer の導入先を指定します。デフォルトのまま、または必要に 応じて書き換えて「次へ」をクリックします。

【インストール・ロケーション設定例】

[AIX 環境]

:/usr/IBM/WebSphere/UpdateInstaller

[Linux/Solaris/HP-UX 環境]

T≡ +± 1 [Window

:/opt/IBM/WebSphere/UpdateInstaller

vs 環境」	:C:¥Program Files¥IBM¥WebSphere¥UpdateI
V;	odate Installer のインストール・ウィザード V6.1.0.0
WebSphere. software	インストール・ディレクトリー IBM Update Installer for Websphere v6.1 ソフトウェアは、指定されたディレクトリーにインストールされます。 別のディレクトリーを指定するか、「参照」をクリックしてディレクトリーを選択 することができます。 ディレクトリー名: /opt/IBM/WebSphere/UpdateInstaller
InstallShield	
	< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) > 取り消し(<u>C</u>)

nstaller

7. "インストールの要約"が表示されます。内容を確認し"次へ"をクリックします。インストールが開始されま す。

V/////////////////////////////////////	pdate Installer のインストール・ウィザード V6.1.0.0
WebSphere, software	 インストールの要約 要約の内容が正しいかどうかを確認してください。前のパネルの値を変更する場合は「戻る」をクリックしてください。「次へ」をクリックすると、インストールが開始します。 次の製品がインストールされます。 ● IBM Update Installer for WebSphere ソフトウェア パス: /opt/IBM/WebSphere/UpdateInstaller 合計サイズ: ● 285 MB
InstallShield	
	< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) > 取り消し(<u>C</u>)

8. インストールが終了すると、"インストール完了"が表示されます。内容を確認し"終了"をクリックします。

Up Up	odate Installer のインストール・ウィザード V6.1.0.0
	インストール完了
N-	次の製品が正常にインストールされました。
WebSphere, software	• IBM Update Installer for WebSphere ソフトウェア バス: /opt/IBM/WebSphere/UpdateInstaller
PAT	ロウィザードの終了時に、IBM Update Installer for WebSphere ソフトウェ アを起動します。
	Update Installer は、インストール・ディレクトリーで update コマンドを実行 することによっても起動できます。
	「終了」をクリックすると、ウィザードが終了します。
X	
The stand water	
فأخافاه احظ	
InstallShield	
	< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) > 終了(<u>F</u>)

以上で Update Installer のインストールは完了です。

7. Fix Pack のインストール

- ●インストールを行う前の注意事項
 - 【重要】V6.0.2 Fix Pack 21(V6.0.2.21)から、Fix ファイルのパッケージの中に Update Installer が同梱されなくなり、また、修正パッケージの更新・削除のツールは Update Installer V6.1 を使 用する必要があります。"5. Update Installer のダウンロード"、"6. Update Installer のインス トール"を参照し、Update Installer のインストールをしてください。
 - 導入前にすべての WAS, IHS が停止していることを確認してください。
 また、WAS 以外で稼動している java プロセスについても停止する必要があります。
 - 3. AIX 環境では不要なライブラリをアンロードするため、root で slibclean を実行してください。
 - 4. ファイルシステムのスペースに不足がないことを確認してください。
 - ·[AIX] :/tmp、/usr に各々約 400M
 ·[Linux および AIX 以外の UNIX ベースのプラットフォーム] : /tmp、/opt に各々約 400M
 (上記のプラットフォームにおける /usr 、/opt 配下に必要とされるスペースは WAS のインストー

ルディレクトリーに依存します。インストールディレクトリーを変更している場合は、そのファイルシ ステムのスペースを確保してください。)

・[Windows] : インストールを実行するディスクに約800M

- ●インストール時の注意事項/推奨事項
- WebSphere Application Server Network Deployment(WAS ND)を導入されているお客様は、 DeploymentManager の Fix レベルが AppServer より高く(新しく)なければなりません。WAS NDを導入 されているお客様は、まず先に Fix を <u>DeploymentManager へ適用し、その後、AppServer へ</u>適用をお願 いします。
- アップデート・インストーラー・プログラムを並行して起動することはできません。複数の更新を同時に実行 すると、インストールの失敗や不完全なインストールを引き起こす可能性があります。
- テスト環境下での適用確認を実行してからの本番環境での適用を推奨します。
- ・ Fix 適用前に Back-up などをとり、問題発生時にすばやく対処できるよう対策をとることを推奨します。
- Update Installer にはウィザード(GUI)モードとサイレント(CUI)モードがあります。本ガイドででは、GUI モードのインストール手順を示します。
- "2. Refresh Pack/Fix Pack のダウンロード"でダウンロードした、Fix Pack ファイル(.pak 拡張子のファ イル)を、Update Installer の導入ディレクトリーの下の maintenance ディレクトリーへ移動します。 (例:

/opt/IBM/WebSphere/UpdateInstaller/maintenance/6.0.2-WS-WAS-LinuxX32-FP0000021.pak)

Update Installer を起動します。コマンドプロンプトを立ち上げ、以下のコマンドを実行してください。
 Update Installer をインストールしたディレクトリーに移動します。

update.bat (あるいは、update.sh)を実行します。

例)	# cd /opt/IBM/WebSphere/UpdateInstaller
	# ./update.sh

3. ウィザード形式の Update Installer が起動します。"次へ"をクリックします。

FM		
ZT-	IBM Update Installer for WebSphere Software ウィザードへようこそ	Ĥ
WebSphere, software	このウィザードでは、暫定修正、フィックスパック、リフレッシュ・パックな どの保守パッケージをインストールまたはアンインストールします。 次の製品 がサポートされています:	
	 IBM WebSphere Application Server バージョン 6 以上 IBM WebSphere Application Server Network Deployment バージョン 6 以上 IBM WebSphere Application Server - Express パージェン 6 い 	3
CHE A-	 Ibit WebSphere Application Server - Explosion Server 上 IBM Application Client for WebSphere Application Server バージョン 6 以上 	
X	 WebSphere Application Server バージョン 6 以上用の Web サー パー・ブラグイン IBM WebSphere Extended Deployment バージョン 5.1 以上 IBM WET Server マージョン 5.1 以上 	
	• I <u>BM WebSphere Process Server バージョン 6.0 以上</u> • I <u>BM WebSphere Enterprise Service Bus バージョン 6.0.1 以上</u> • IBM WebSphere Enterprise Service Bus バージョン 6.0.1 以上	
InstallShield	<u>剰早</u> 周有の#ポート構報については「トのリンクをクリック」てください」詳	
	< 戻る(B) 次へ(N) > 取り消し(<u>C</u>)	

4. 更新する WAS のインストールディレクトリー(<WAS_ROOT>)を入力し、"次へ"をクリックします。

	製品の選択	
	更新する製品のインストール・ロケーションを入力します。	
WebSphere, software	ドロップダウン・リストから別のディレクトリーを選択するか、別のディ リーを指定するか、「 参照 」をクリックしてディレクトリーを選択します	レクト
Part	ディレクトリー・パス:	
	/opt/IBM/WebSphere/AppServer	-
		<u>参照</u> …
stallShield		

5. "保守パッケージのインストール"を選択し"次へ"をクリックします。

💙 IBM Update Installe	r for WebSphere Software 6,1,0,9	- = ×
WebSphere, software	保守オペレーションの選択 ④ 保守パッケージのインストール(!) ○ 保守パッケージのアンインストール(!)	
InstallShield	< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) > 取り消し(<u>C</u>	2

- インストール Fix Pack のファイルを保存した<u>ディレクトリ</u>("**手順 1**"参照)を入力し、"次へ"をクリックします。
 ※「Fix Pack のファイル」とは、.pak 拡張子のファイルのことを指します。"2. Refresh Pack/Fix Pack の ダウンロード"の"手順5."でダウンロードし保存した.pak ファイルです。
 - (例: /opt/IBM/WebSphere/UpdateInstaller/maintenance)

A	保守パッケージ・ディレクトリーの選択 🔺
WebSphere, software	インストール可能な保守パッケージをリストするディレクトリーを入力しま す。 ディレクトリーを指定するか、「参照」をクリックして保守パッケージへ のパスを選択することができます。
- and	ディレクトリー・パス:
Post	/opt/IBM/WebSphere60/UpdateInstaller/maintenance
	参照
	最新保守パッケージは、オンラインで使用可能です。 完全なリストを入手する ために <u>WebSphere Application Server の推奨される Fix</u> Web ページにア
	(『クセスするか、または特定の株寸ハックニンを検出する Mepophere 株寸グワート!
	ンロード・ウィザードを使用して、WebSphere Application Server および
	<u>ンロード・ウィザード</u> を使用して、 WebSphere Application Server および すべての WebSphere Application Server Feature Pack の保守パッケージ
	<u>ンロード・ウィザード</u> を使用して、WebSphere Application Server および すべての WebSphere Application Server Feature Pack の保守パッケージ を入手してください。
	<u>ンロード・ウィザード</u> を使用して、WebSphere Application Server および すべての WebSphere Application Server Feature Pack の保守パッケージ を入手してください。 追加情報はオンラインで、WebSphere Application Server ライブラリー、
	<u>ンロード・ウィザード</u> を使用して、WebSphere Application Server および すべての WebSphere Application Server Feature Pack の保守パッケージ を入手してください。 追加情報はオンラインで、 <u>WebSphere Application Server ライブラリー</u> 、 またけ WebSphere Application Server インフォメージョン・センターの
tallShield	<u>ンロード・ウィザード</u> を使用して、WebSphere Application Server および すべての WebSphere Application Server Feature Pack の保守パッケージ を入手してください。 追加情報はオンラインで、 <u>WebSphere Application Server ライブラリー</u> 、 または WebSphere Application Server インフォメーション・センターの

※[補足] V6.0.2.21 以降にて Fix ファイルをダウンロードする場合、ダウンロードを行ったブラウザーによっ ては、ファイル拡張子が「.pak」だったものが、「.pak.zip」に変更されてしまう場合があります。この場合、 インストールやアンインストールに問題が発生しますので、必ず、ダウンロードしたファイル名をご確認いた だき、拡張子が異なる場合はリネームしてください。以下の Technote 文書もあわせてご参照ください。 UpdateInstaller for version 6.0 or 6.1 is unable to uninstall fix due to a ".pak.zip" file extension

http://www.ibm.com/support/docview.wss?rs=180&uid=swg21256778

7. インストールする Fix Pack を選択し、"次へ"をクリックします。

💙 IBM Update Installer	for WebSphere Software 6,1,0,9	×
WebSphere, software	 インストール可能な保守パッケージ インストールする保守パッケージを選択します。 揺捉される更新の選択 更新をすべて選択解除 6.0.2-WS-WAS-Linu×X32-FP00000021.pak 各パッケージの選択は、残りのパッケージの追加選択を制限する可能性がありま な数選択は、異なる製品に対して可能です。 続行するには「次へ」をクリックします。 	
	< 戻の(D) (X^(N)> 取り消し(C)	

8. 更新内容の確認画面が表示されます。内容を確認し、"次へ"をクリックします。インストールが開始します。

🚩 IBM Update Install	er for WebSphere Software 6,1,0,9	. 🗆 🗙
×	インストールの要約	
Law.	次の保守パッケージがインストールされます。	
WebSphere, software	• FP60221 – WebSphere Application Server 6.0.2.21	
- Suren	対象の製品:	
	 IBM WebSphere Application Server – V6.0.2.0 /opt/IBM/WebSphere60/AppServer 	
	この保守パッケージは、プロファイルを更新します。 プロファイルの更新 いて詳しくは、保守パッケージの README を確認してください。 続行す に、 <u>backupConfig</u> コマンドで各プロファイルをパックアップするか、ブ ファイル・ディレクトリー全体をアーカイブしてください。	につ る前 'ロ
	「 次へ」 をクリックすると、インストールが開始します。	
InstallShield		
1	< 戻る(B) 次へ(N) > 取り消し(<u>C</u>)	

9. インストールが完了したら"終了"をクリックします。



以上で、Fix Pack のインストールは完了です。

8. Fix Pack インストール後の確認

<WAS_ROOT>¥bin¥versionInfo.bat あるいは **versionInfo.sh** を実行し、Fix レベルを含めたバージョン を確認します。

ersionInfo.bat(sl	n)の実行例 (V6.0.2 に Fix pac	k 21 をインストールした例)
C:¥IBM¥WebSphere	60¥AppServer¥bin>versionInfo.bat	
WVER0010I: Copyrig	ht (c) IBM Corporation 2002, 2005; All	ights reserved.
WVER0011I: WebSp	here Application Server リリース 6.0	
WVER0012I: Versior	Info reporter バージョン 1.15.3.2、日付	11/23/06
IBM WebSphere App	lication Server 製品インストール状況レ 7	ポ −ト
 ~省略~		
インストール・プラットフ	7オーム	
 名前	IBM WebSphere Application S	Server
バージョン	6.0	
製品リスト		
BASE	インストール済み	
インストール済み製品		
 名前	IBM WebSphere Application S	Server
バージョン	6.0.2.21	
ID	BASE	
ビルド・レベル	cf210727.15	
ビルド日	7/13/07	
インストール状況レポ・	ートの終了	

適用したFixが適用され、"インストール済み製品"の"バージョン"が更新されていれば正しくインストールされています。

問題が発生した場合には<WAS_ROOT>¥logs¥updateにあるlogファイルを確認してください。

9. Refresh Pack/Fix Pack のアンインストール

一度適用した Refresh Pack/Fix Pack は、以下の手順でアンインストールすることができます。

●アンインストール時の注意事項

WebSphere Application Server Network Deployment(WAS ND)では、DeploymentManager の Fix レベルが AppServer より高く(新しく)なければなりません。WAS ND を導入されているお客様は、 AppServer に適用した修正、DeploymentManager に適用した修正の順でアンインストールを実行して 下さい。

 Update Installerを起動します。Refresh Packの場合は"3. Refresh Packのインストール"の"手順2"から"手順4" までと同じ手順、Fix Packの場合は"7. Fix Packのインストール"の"手順2"から"手順5" までと同じ手順を実行します。"手順5 "の画面で"保守パッケージのアンインストール"を選択し"次へ"を クリックします。

🖄 IBM Update Installer f	or WebSphere Software V6.0.2.6	
WebSphere software	保守操作を選択してください。	
mstalismeid	<戻る(B) 次へ(N) > 取り消し	JC)

2. インストール済みの修正が一覧表示されます。表示されている修正のリストの中からアンインストールする Refresh Pack あるいは Fix Pack を選択し、"次へ"をクリックします。

🖄 IBM Update Installer f	or WebSphere Software V6.0.2.6	_ 🗆 X
	アンインストールする保守バッケージを選択します。	
WebSphere, software	 6.0.2-WS-WAS-WinX32-FP00000011.pak 6.0-WS-WAS-WinX32-RP0000002.pak 	
InstallShield		
	<戻る(B) 次へ(N) > 取り消し	JC)

3. アンインストールについての確認画面が表示されます。内容を確認し、誤りがなければ"次へ"を クリックします。アンインストールが開始されます。

🖞 IBM Update Installer	for WebSphere Software V6.0.2.6	_ 🗆 X
×	次の製品はダウングレードされます:	
WebSphere, software	IBM WebSphere Application Server Network Deployment - C: VIBMWVebSphere60VAppServer	
- Comment	次の保守パッケージをアンインストールして行われます:	
A	• FP60211 - WebSphere Application Server 6.0.2.11	
	この保守パッケージがプロファイルに対して行った更新は、プロファイルに対 続のカスタム変更が行われた可能性があるため、アンインストールされません 「次へ」をクリックすると、アンインストール・プロシージャーを開始します	すして後 い₀ F。
InstallShield	,	
	<戻る(B) 次へ(N)> 取り消し	,©

4. アンインストールが完了したら"終了"をクリックします。

皆 IBM Update Installer	for WebSphere Software V6.0.2.6
WebSphere software	 正常終了: 次の製品は正常にダウングレードされました: IBM WebSphere Application Server Network Deployment - C: NIBMWebSphere60\AppServer 次の保守パッケージがアンインストールされました: FP60211 - WebSphere Application Server 6.0.2.11 「再起動」をクリックしてウィザードを再起動するか、「終了」をクリックして終了 してください。
InstallShield	< 戻る(B) 再起動(B) 終了(F)

以上で、Refresh Pack/Fix Pack のアンインストールは完了です。

10. Refresh Pack/Fix Pack アンインストール後の確認

<WAS_ROOT>¥bin¥versionInfo.bat あるいは **versionInfo.sh** を実行し、Fix レベルを含めたバージョン を確認します。

C:¥IBM¥WebSphere	60¥AppServer¥bin>versionInfo.bat	
WVER0010I: Copyrig	ght (c) IBM Corporation 2002, 2005; All righ	ts reserved.
WVER0011I: WebSp	where Application Server UU-X 6.0	
WVER0012I: Versior	nInfo reporter バージョン 1.15.3.1、日付 4/2	:5/05
IBM WebSphere App	olication Server 製品インストール状況レポー	٢
 ~省略~		
インストール・プラットフ	7オーム	
 名前	IBM WebSphere Application Serv	er
バージョン	6.0	
製品リスト		
ND	インストール済み	
インストール済み製品	i	
 名前	IBM WebSphere Application Serv	er - ND
バージョン	6.0.2.0	
ID	ND	
ビルド・レベル	00526.07	
ビルド日	6/29/05	

Fixがアンインストールされ、"インストール済み製品"の"バージョン"が更新されていれば正しくアンインストー ルされています。

問題が発生した場合には<WAS_ROOT>¥logs¥updateにあるlogファイルを確認してください。